

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和3年2月21日掲載

2年2組 田中清顕

「誇りをもてる仕事に就きたい」

僕が今回の測行講話で学んだことは、自分のなりたいものを持っておくべきだということです。

話をしてくれた田崎さんは消防士で、オレンジの服を着ている特別救助隊です。田崎さんは中学時代に、同級生を亡くされており、それから命に対してよく考えるようになり、周囲から反対されたり、厳しい意見を受けたりした中でも消防士になられたそうです。

田崎さんは、「何か自分になりたいものを明確に持っていることが大切だ」とおっしゃいました。そして、そのためには「友達を大切にすること、夢を持ったらそれに向かって突き進んでいくことが大事だ」と考えておられたそうです。

また、仕事で救助した人から「ありがとう」と言われることがとてもうれしくて、仕事の励みになると言われていました。

自分も将来就く仕事が、田崎さんのように誇りをもち、人の役に立てる仕事がいいと思いました。そして、今の友達や家族、これから出会う人たちを大切にして、自分がもった夢に向かっていきたいと思いました。